

— — — 新年のご挨拶 — — —

新年明けまして おめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

介護老人保健施設 東雄苑は開設 12 年目を迎えることができました。
昨年は厚生労働省の目指す方向に従い在宅復帰を進めました。その結果
在宅復帰者の割合が約 40%を超えることができました。
これには皆様のご理解、ご支援があつてできたものと感謝しています。

今年の目標としては 認知症リハビリテーションの充実を図りたいと考えています。
私も認知症リハビリテーションの講習会に昨年参加しました。講習会では入所者の興味
のあることへの参加を促すことにより 日頃の ADL（日常生活動作）の向上が見
られるとともに介護量が減ることが確認されています。厚生労働省もこのリハビリ
テーションに力を入れるようになっていきます。
リハビリテーションのセラピストにより行われるだけでなく、日常生活の中に獲得した
ものをどのように組み入れていくかが課題です。今年はこれを重点的に進めて
いきたいと考えています。

日常生活においては食事やトイレの介助だけでなく、毎月の誕生日会、書初め、
節分、春の遠足、夏祭り、敬老会、クリスマス会、年末の餅つき等の季節行事
そして塗り絵、ちぎり絵、園芸等々のレクリエーションの充実を図っていきます。
通所リハビリテーションでは風船ゲーム、ボーリング遊び等の体を動かすゲームも織り
交ぜています。利用者に刺激のある、楽しい毎日を送れるように努力していき
たいと思います。
また、ご家族様とは十分なコミュニケーションを行い、施設との間では信頼関係の中で運
用されるようにしていきたいと考えています。それにより地域の中で頼られる
施設になれるように頑張っていきたいと考えています。

皆様におかれましても本年が良い年であることを祈ります。

平成 29 年 正月

介護老人保健施設 東雄苑 施設長 板倉 丈夫